

独自の国家

AI・自由民主主義・監視社会⑦

国際社会経済研究所 (NECグループ) 上席研究員

原田 泉



さまざまな種類

「AI」で言う「コミュニティー」にはさまざま

な種類があり、都道府県や市町村を基本と

する。また、全国146の信用組合の経済圏

は地域金融コミュニティーと言え、大学や市

民活動を中心としたも

のも考えられる。さま

ざまなコミュニティー

ごとのクラウドやエッ

ジでデータを管理し、

バー・AIを設置

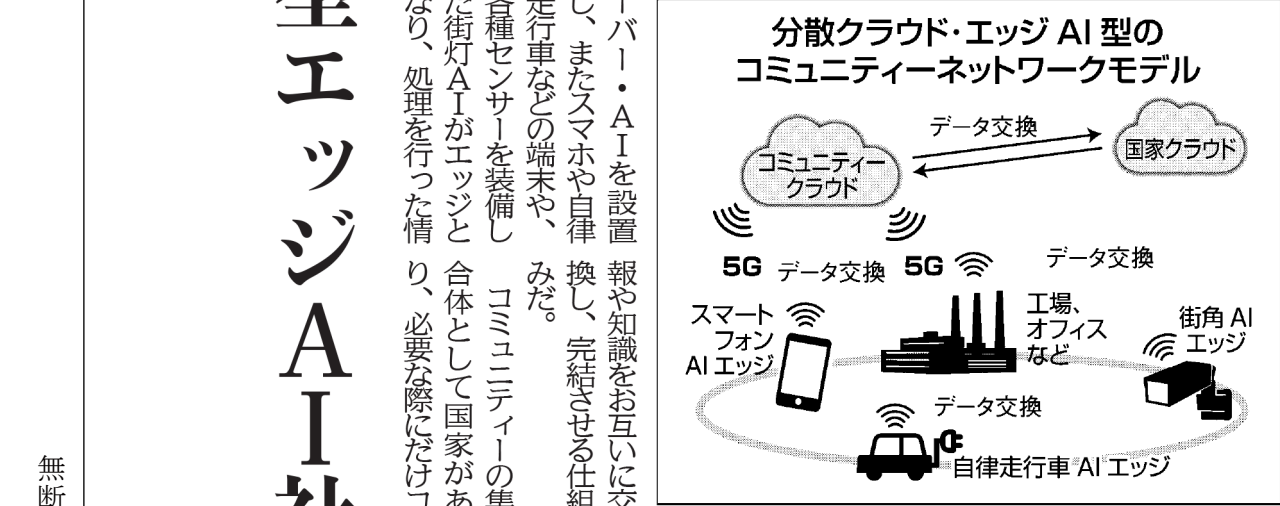
報や知識をお互いに交

換し、完結させる仕組

みだ。

各種センサーを装備し

た街灯AIがエッジと



コミュニティーのデータで、安心・安全にエッジやクラウド間のデータ流通を実現すべきだ。一方、AI化に当たってはプライバシーを担保するようなシ

ステムを作り、権力の乱用に対する市民参加のチェック機能も整備すべきだ。エッジ間でも必要な時にだけネットワークがつながりデータの共有化を行い、コミュニティー間の問題の処理に当たる。

そこは、データを暗号化したまま計算できる秘密計算によるプライバシー保護と、ブロックチェーン(分散型台帳)によるトレーサ

セキュリティ保証など

安全な人間中心の分散クラウド・エッジAI型のコミュニティーネットワーク社会の普及を進めていくべきだ。

(PART7おわり)

万能ではない

AIは決して万能で

はなく、誤った判断も

するし、システムの暴

走も発生する可能性が

ある。そのため説明責

任と透明性の重視が課

題となる。わが国は、自

由と民主主義、人権を

守り、このような安心

安全な人間中心の分散

クラウド・エッジAI

前回、自由民主主義 米国型クラウドAI国 体制と統制型・権威主 家でもなく、またBA ラウド型のネットワー 義体制は人工知能(AI) TH(バイドゥ、アリク 社会ではなく、効率 I)化が進む中で、そ ババ、テンセント、フ 性を担保しつつも地方 れぞれ性格の異なる監 アーウェイ)と政府が 分権を進め、個人の 視社会を形成している 集めた同様のデータを 権やプライバシーを最 大限に尊重してデータ ベースにした中国型ク ラウドAI国家でもな を地域、コミュニティ ーで収集・解析・蓄積 するよう分散クラウド 情報を一元的に収集 ド・エッジAI型のコ ン、フェイスブッ ク、アップル)が集め 解析・蓄積するの ミュニティーネットワ 国内外のさまざまな が、クラウド・コンピ ューティングであり、 だと考える。

分権型エッジAI社会へ